© 2011 SEC Co. Ltd.
mykarte.com

ID Link

汎用メッセージoverSOAP（9.6版）

第9.6版 2022/12/15

株式会社エスイーシー
ID-Linkサポートセンター

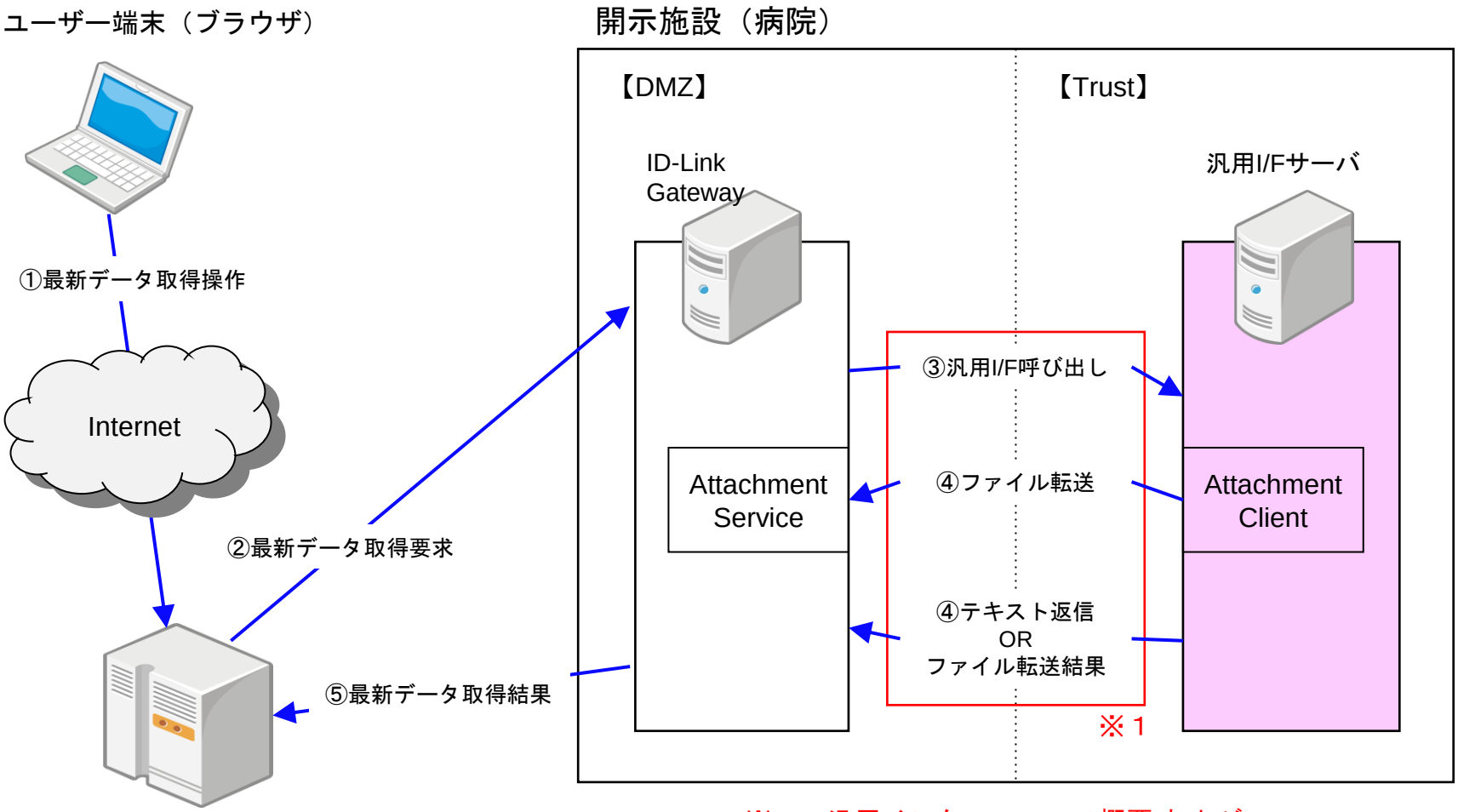
© 2011 SEC Co. Ltd.

汎用 インタフェース とは

- SOAP Message に、オリジナル Message(XMLなどのテキスト)を載せて通信を行うための仕組みです。
- 文字以外の情報（JPEGなどのバイナリ）を通信したい場合にも、http://www.w3.org/TR/SOAP-attachments の仕様に基づきそれが行えるための仕組みです。
- SOAPをベースにしているため、Socket 通信の場合にありがちな、(ネットワーク障害などによる)例外時の取り決め等の多くを、簡略化する仕組みです。
- .NET, Java では、SOAP の通信ライブラリ、ツール類が拡充されているため、開発効率を上げることが可能になる。
サンプルソースは下記URLから、ダウンロード出来ます。
http://www.mykarte.org/idlink/RetrieveService-ver5.1.zip

© 2011 SEC Co. Ltd.

汎用 インタフェース とは



※１：汎用インターフェース概要 および
AttachmentServiceインターフェース概要 参照

© 2011 SEC Co. Ltd.

汎用 インタフェース仕様(JAVA版)
（メソッド一覧）

メソッド	戻り値	概要
authenticate(String[] args)	boolean	通信に先立ち、Applicationレベルでの認証を行います。
setCallbackInfo(String[] info)	void	AttachmentServiceを呼び出すために必要な情報を設定します。 **※getFiles() を使用する場合、設定は必須です。**
setPatient(String patientId)	void	情報を要求する患者IDを設定します。
getPatient ()	String	情報を要求する患者IDを取得します。
setProperties(String[] props)	void	要求する情報の検索条件を設定します。
getDates(String startDate, String endDate, boolean diff)	String[]	指定期間内で、データが存在する日付を返します。 “diff”が真の場合、開始日、終了日の範囲に変更削除があった日を戻し、 偽の場合、開始日、終了日の範囲の日全てを戻します。
getContent(String date)	String	指定日のデータを、テキストとして返します。
getFiles(String date)	String	指定日のデータファイルを、AttachmentServiceに送信します。 ※bainaryファイル （JPEG、PDFファイル等）

© 2011 SEC Co. Ltd.

汎用 インタフェース仕様(.Net版)
（メソッド一覧）

メソッド	戻り値	概要
Authenticate(String[] args)	boolean	通信に先立ち、Applicationレベルでの認証を行います。
SetCallbackInfo(String[] info)	void	AttachmentServiceを呼び出すために必要な情報を設定します。 **※GetFiles() を使用する場合、設定は必須です。**
SetPatient(String patientId)	void	情報を要求する患者IDを設定します。
GetPatient ()	String	情報を要求する患者IDを取得します。
SetProperties(String[] props)	void	要求する情報の検索条件を設定します。
GetDates(String startDate, String endDate, boolean diff)	String[]	指定期間内で、データが存在する日付を返します。 “diff”が真の場合、開始日、終了日の範囲に変更削除があった日を戻し、 偽の場合、開始日、終了日の範囲の日全てを戻します。
GetContent(String date)	String	指定日のデータを、テキストとして返します。
GetFiles(String date)	String	指定日のデータファイルを、AttachmentServiceに送信します。 ※bainaryファイル （JPEG、PDFファイル等）

© 2011 SEC Co. Ltd.
mykarte.com

汎用 インタフェース仕様

- 汎用インタフェースでは、<標準仕様>と<JSON文字列による拡張>を選択することが可能です。
- <標準仕様>は、本仕様書にて引数として設定する情報および配列位置を指定しているため、インタフェースの自由度はありませんが、調整には然程、時間を要しません。
- <JSON文字列による拡張>では、引数および戻り値をJSON文字列としているため、インタフェースの拡張が可能ですが、JSONフォーマットなどを当社と調整する必要なため、打ち合わせ等に相応の時間を要します。

© 2011 SEC Co. Ltd.

汎用 インタフェース仕様(JAVA版)
＜標準仕様＞

メソッド	戻り値	説明
authenticate(String[] args)	boolean	args[0] に userId、args[1] に pasword を設定します。 認証結果は、真偽値で返します。
setCallbackInfo(String[] info)	void	info[0] に AttachmentServiceのエンドポイント、 info[1] に facilityId、 info[2] に encryptedId、 info[3] に serviceId を設定します。
setPatient(String patientId)	void	patientId に患者IDを設定します。
getPatient ()	String	setPatient()で設定された患者IDを返します。
setProperties(String[] props)	void	props[0] に type、props[1] に attribute を設定します。 例. 血圧: type=measurement attribute=bloodPressure
getDates(String startDate, String endDate, boolean diff)	String[]	startDate に対象期間の開始日、endDate に取得期間の終了日、 Diff に差分取得の真偽値を設定します。 指定期間内でデータが存在する日付を、配列で返します。
getContent(String date)	String	date にデータ取得日を設定します。 戻り値は、その日のデータをテキストで返します。
getFiles(String date)	String	date にデータ取得日を設定します。 setCallbackInfo()で設定された AttachmentService に対して、 その日のデータファイルを送信します。 戻り値は、送信結果として下記のいずれかの文字列を返します。 「Success」(全件成功)/「Failure」(全件失敗)/「Warning」(一部失敗)

© 2011 SEC Co. Ltd.

汎用 インタフェース仕様(JAVA版)
<JSON文字列による拡張>

メソッド	戻り値	説明
authenticate(String[] args)	boolean	args[0] に認証情報（userId、pasword など）のJSON文字列を設定します。 認証結果は、真偽値で返します。
setCallbackInfo(String[] info)	void	標準仕様 と同じです。
setPatient(String patientId)	void	patientId に対象患者情報（患者ID など）のJSON文字列を設定します。
getPatient ()	String	setPatient()で設定されたJSON文字列内の患者IDを返します。
setProperties(String[] props)	void	props[0] に検索条件（type、attribute など）のJSON文字列を設定します。
getDates(String startDate, String endDate, boolean diff)	String[]	引数については、標準仕様 と同じです。 戻り値のString[0] で検索結果情報（データが存在する日付 など）のJSON文字列を返します。 ※diffに設定する値については、弊社との協議が必要となります。
getContent(String date)	String	標準仕様 と同じです。
getFiles(String date)	String	date に取得条件（データ取得日 など）のJSON文字列を設定します。 データファイル送信動作 および 戻り値については、標準仕様 と同じです。

© 2011 SEC Co. Ltd.

汎用 インタフェース仕様(.Net版)
＜標準仕様＞

メソッド	戻り値	説明
Authenticate(String[] args)	boolean	args[0] に userId、args[1] に pasword を設定します。 認証結果は、真偽値で返します。
SetCallbackInfo(String[] info)	void	info[0] に AttachmentServiceのエンドポイント、 info[1] に facilityId、 info[2] に encryptedId、 info[3] に serviceId を設定します。
SetPatient(String patientId)	void	patientId に患者IDを設定します。
GetPatient ()	String	SetPatient()で設定された患者IDを返します。
SetProperties(String[] props)	void	props[0] に type、props[1] に attribute を設定します。 例. 血圧: type=measurement attribute=bloodPressure
GetDates(String startDate, String endDate, boolean diff)	String[]	startDate に対象期間の開始日、endDate に取得期間の終了日、 Diff に差分取得の真偽値を設定します。 指定期間内でデータが存在する日付を、配列で返します。
GetContent(String date)	String	date にデータ取得日を設定します。 戻り値は、その日のデータをテキストで返します。
GetFiles(String date)	String	date にデータ取得日を設定します。 SetCallbackInfo()で設定された AttachmentService に対して、 その日のデータファイルを送信します。 戻り値は、送信結果として下記のいずれかの文字列を返します。 「Success」(全件成功)/「Failure」(全件失敗)/「Warning」(一部失敗)

© 2011 SEC Co. Ltd.

汎用 インタフェース仕様(.Net版)
<JSON文字列による拡張>

メソッド	戻り値	説明
Authenticate(String[] args)	boolean	args[0] に認証情報（userId、pasword など）のJSON文字列を設定します。 認証結果は、真偽値で返します。
SetCallbackInfo(String[] info)	void	標準仕様 と同じです。
SetPatient(String patientId)	void	patientId に対象患者情報（患者ID など）のJSON文字列を設定します。
GetPatient ()	String	SetPatient()で設定されたJSON文字列内の患者IDを返します。
SetProperties(String[] props)	void	props[0] に検索条件（type、attribute など）のJSON文字列を設定します。
GetDates(String startDate, String endDate, boolean diff)	String[]	引数については、標準仕様 と同じです。 戻り値のString[0] で検索結果情報（データが存在する日付 など）のJSON文字列を返します。 ※diffに設定する値については、弊社との協議が必要となります。
GetContent(String date)	String	標準仕様 と同じです。
GetFiles(String date)	String	date に取得条件（データ取得日 など）のJSON文字列を設定します。 データファイル送信動作 および 戻り値については、標準仕様 と同じです。

© 2011 SEC Co. Ltd.

汎用 インタフェース仕様

- **Session管理を行う事**により、１患者につき複数回のメソッド呼び出しに対応し、動作出来る事とします。
- 日付書式は、YYYY-MM-DD とします。
- setProperties(String[]) に設定する、type, attribute と、getContent(String) は、
  お打ち合わせさせてください。
- getContent(String) の内容は、XML を基本としていますが、
  bainaryファイル （JPEG、PDFファイル等） を返したい場合は、AttachmentServiceを使用します。
  AttachmentService仕様の詳細については、次頁の
  『AttachmentServiceインタフェース仕様』を参照してください。

【.Netでの開発における注意事項】

汎用 インタフェース仕様につきましては、(JAVA版)のメソッドにて記載させていただいておりますので、

汎用 インタフェース仕様(.Net版) （メソッド一覧） 及び

汎用 インタフェース仕様(.Net版) <標準仕様>、

汎用 インタフェース仕様(.Net版) <標準仕様> <JSON文字列による拡張>を

参照していただき、当仕様書内のメソッドの読み替えをお願いします。

.Netにて開発を行う場合には、**メソッドの先頭１文字が大文字**となります。

例： JAVA版　setProperties(String[])

　　.Net版　　SetProperties(String[])

※AttachmentService インタフェース仕様につきましては、大文字・小文字の区別はありません。

© 2011 SEC Co. Ltd.

AttachmentService インタフェース仕様

メソッド	戻り値	説明
authenticate(String[])	boolean	通信に先立ち、Applicationレベルでの認証を行います。 String[] には、汎用インタフェースの setCallbackInfo() の引数で 指定された facilityId、encryptedId を設定します。
setServiceId(String)	boolean	setCallbackInfo() の引数で指定された serviceId を設定します。
setPatientId(String)	boolean	病院の患者IDを設定します。
setType(String)	boolean	String には、汎用インタフェースの setProperties() の引数で 指定された type を設定します。
setAttribute(String)	boolean	String には、汎用インタフェースの setProperties() の引数で 指定された attribute を設定します。
setDate(Calendar)	boolean	Calendar には、汎用インタフェースの getFiles() の引数で 指定された日付を設定します。
setExtension(String)	boolean	ファイルの拡張子を設定します。
setDescriptionId(String)	boolean	送信するファイルのタイトル情報に対応する descriptionId を設定します。 (ファイルのタイトル情報がない場合は、空文字列を設定。) **※type=image,attribute=dicomの際には、別途設定が必要となります。 後述のPACS画像の取り扱いについてを参照してください。**
store(int, byte[])	boolean	バイナリデータをAttachmentServiceに送信します。 int には、シーケンス番号を設定します。 (同じ日付、同じ種別のファイルが複数ある場合は、0から始まる連番。 ファイルが複数ない場合は、0固定。) byte[] には、バイナリデータを設定します。

- **Session管理を行う事**により、１患者につき複数回のメソッド呼び出しに対応し出来る事とします。
- setDescriptionId(String) に設定する descriptionId については、お打ち合わせさせてください。

© 2011 SEC Co. Ltd.

(type / attribute 組み合わせ)

type	attribute	ｶﾚﾝﾀﾞｰ表示行	説明	type	attribute	ｶﾚﾝﾀﾞｰ表示行	説明
order	prescription	処方	処方	summary	referral	レポート	診療情報提供書/依頼書
order	injection	注射	注射	summary	report	レポート	返書/報告書
order	laboratoryTest	検査	検体検査	summary	discharge	レポート	退院時要約
order	virusTest	検査	細菌検査	summary	postoperation	レポート	手術記録
order	physiology	検査	生理検査	summary	nursing	レポート	看護要約
order	xray	画像	画像	summary	checkup	レポート	健診結果
order	radiologyReport	レポート	読影レポート	summary	otherDocument	レポート	その他文書
person	patient		患者基本				
term	admission		入院期間				
archive	zip	ファイル	ZIPファイル				
image	dicom		PACS画像				
wave	mfer		医用波形				

© 2011 SEC Co. Ltd.

(type / attribute 組み合わせ)

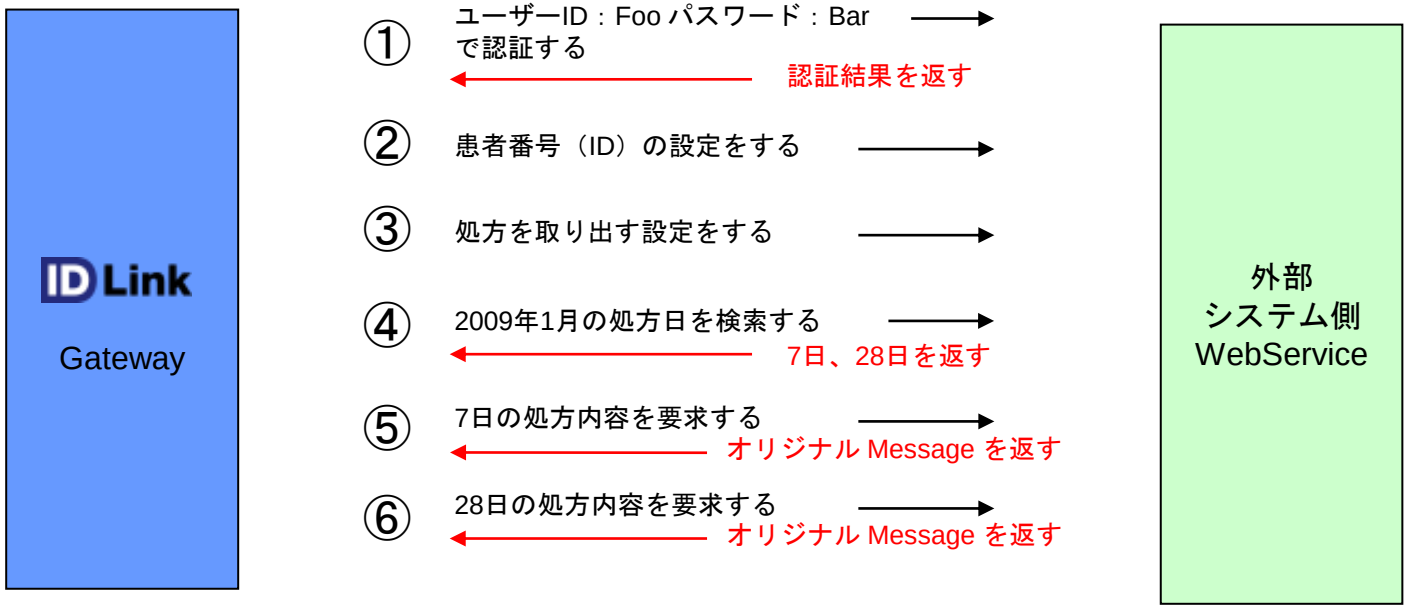
type	attribute	setProperties 第３引数	ｶﾚﾝﾀﾞｰ 表示行	説明
note	100		ノート	診察記事
note	101		ノート	患者サマリ
note	102		ノート	医師記録
note	103		ノート	病名
note	104		ノート	アレルギー
note	105		ノート	看護記録
note	106		ノート	感染症
note	90	informedConsent	ノート	インフォームド・コンセント
note	90	elderlyWatcher	ノート	見守り

© 2011 SEC Co. Ltd.

汎用 インタフェース概要(テキストデータ返信の場合)

メソッドの呼び出し順と例

① authenticate(“Foo”, “Bar”)
② setPatient(“99990001”)
③ setProperties(“measuerment”, “tempercher”)
④ getDates(“2009-01-01”, “2009-01-31”, false)
⑤ getContnet(“2009-01-07”)
⑥ getContnet(“2009-01-28”)



© 2011 SEC Co. Ltd.

setPropertiesの設定について

JAVA版：setProperties(String[] props)
.Net版 ：SetProperties(String[] props)

setProperties()メソッドには、引数としてtype及びattributeを設定して頂きますが、
typeの設定値が”note”で、attributeの設定値が”90”の場合は、
第３引数に下記を設定する事が可能です。

・インフォームドコンセント → informedConsent
・見守り → elderlyWatcher

メソッドの呼び出し順と例

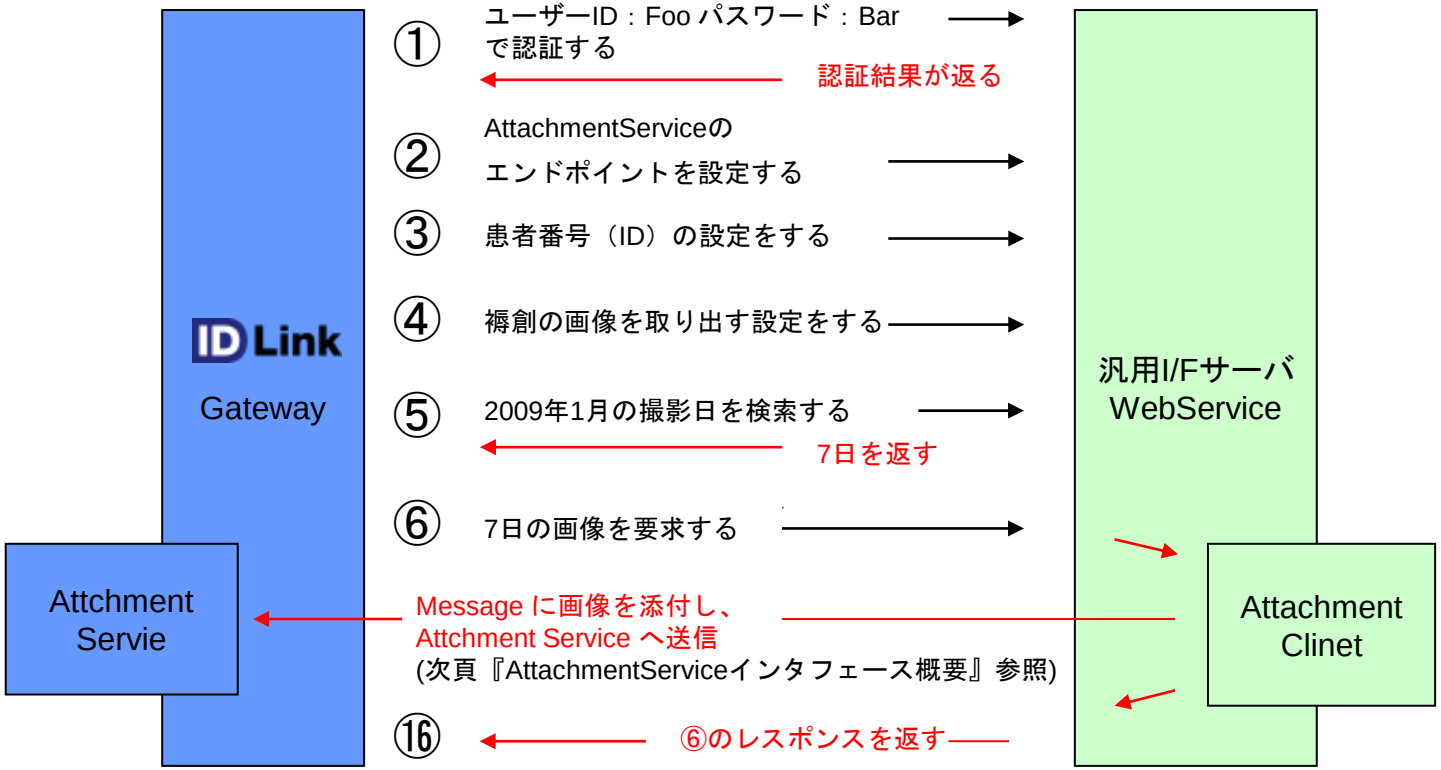
① authenticate(“Foo”, “Bar”)
② setPatient(“99990001”)
③ setProperties(“note”, “90”,”informedConsent”)
④ getDates(“2009-01-01”, “2009-01-31”, false)
⑤ getContnet(“2009-01-07”)
⑥ getContnet(“2009-01-28”)

© 2011 SEC Co. Ltd.

汎用 インタフェース概要(バイナリデータ添付の場合)

メソッドの呼び出し順と例

① authenticate(“Foo”, “Bar”)
② setCallbackInfo(“http://～/AttachmentService”, “0”, “xxxxxxxx”, “123”)
③ setPatient(“99990001”)
④ setProperties(“image”, “wound”)
⑤ getDates(“2009-01-01”, “2009-01-31”, false)
⑥ getFiles(“2009-01-07”)



© 2011 SEC Co. Ltd.

AttachmentService インタフェース概要

メソッドの呼び出し順と例（前ページ⑥の呼び出し後のシーケンス）

⑦ authenticate(“0”, “xxxxxxxx”)
⑧ setServiceId(“123”)
⑨ setPatientId(“99990001”)
⑩ setType(“image”)
⑪ setAttribute(“wound”)
⑫ setDate(“2009-01-07”)
⑬ setExtension(“jpeg”)
⑭ setDescriptionId(“001234”)
⑮ store(0, byte[])

} ファイルが複数ある場合は、繰り返し。

© 2011 SEC Co. Ltd.

PACS画像の取り扱いについて

- 弊社では、通常、 DICOMサーバーにQuery/Retrieveをかけて DICOMデータを取得します。
上記、 Query/Retrieveがご利用できない場合、
画像情報（jpegファイルに限る）をバイナリデータで送信して頂く事により、
弊社AttachmentServiceにて、DICOMファイルへと変換を行い、ID Link にて画像を参照する事も可能です。

- データ送信に先だって、setExtension(String)、setDescriptionId(String) の設定が必要となります。

メソッド	戻り値	説明
setExtension(String)	boolean	ファイルの拡張子を設定します。 **※現在は、ファイル形式が " jpeg"のみ対応しておりますので、** **" jpeg" 固定となります。** 設定例 setExtension("jpeg")
setDescriptionId(String)	boolean	"識別用通番"（10桁以下）,"検査種別"（2桁以下）を設定します。 **※カンマ区切り** 識別用通番(1Series単位)につきましては、（先頭ゼロパディング）した値を設定します。 検査種別につきましては、検査種別に対するID-Link連携用のコードを設定します。 **後述の「検査種別について」を参照のうえ、** **設定される値を事前に連絡いただくようにお願いします。** 設定例 setDescriptionId("0001000001,1")

© 2011 SEC Co. Ltd.

PACS画像の取り扱いについて(設定例)

【設定例】

１患者が１日に下記の検査データが存在した場合

検査データ

12誘導（画像２枚）　…　識別用通番=0001000001、検査種別=1

肺機能（画像１枚）　…　識別用通番=0001000002、検査種別=B

上記例のデータを「AttachmentService」へ送信する際の実行順は、下記の通りになります。

※前述のAttachmentService インタフェース概要⑫～⑮抜粋

≪認証、および基本情報送信≫

⑫setDate("2013.05.25")

⑬setExtension("jpeg")
⑭setDexctiptionId("0001000001,1")
⑮store(1,〔画像データ：12誘導１枚目〕)

⑬setExtension("jpeg")
⑭setDexctiptionId("0001000001,1")
⑮store(2,〔画像データ：12誘導2枚目〕)

⑬setExtension("jpeg")
⑭setDexctiptionId("0001000002,B")
⑮store(1,〔画像データ：肺機能〕)

© 2011 SEC Co. Ltd.

検査種別について

- 検査種別に設定されている値を元に、DICOMファイル変換時に設定するモダリティとしますので、下記サンプルを例に、御社側で設定する内容を送付いただくようにお願いします。

検査種別名	Modality	設定値
Ｘ線撮影	CR	1
コンピューター断層撮影	CT	2
磁気共鳴	MR	3
核医学	NM	4
超音波	US	5
その他	OT	6
生物磁気イメージング	BI	7
透過グラフ	DG	8
内視鏡検査	ES	9
レーザー面走査	LS	A
陽電子放射断層撮影 (PET)	PT	PT
心電図	ECG	C
心臓電気生理学	EPS	D
１２誘導	ECG	EC

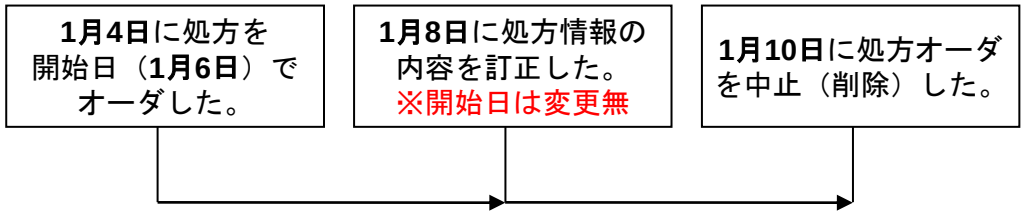
© 2011 SEC Co. Ltd.

汎用 インタフェース概要(補足：getDatesメソッドについて)

getDatesメソッドの第３引数にある “diff” の設定(true,false)については、弊社との調整が必要となります。
falseを推奨しますが、trueとする必要がある場合、弊社までご連絡をお願いします。
下記に、サンプルを記載しますので、選択する際の参考にしてください。

【diff = false の場合】

getDates()をコールした時点で、有効なオーダの日付（開始日）を返して頂きます。
getDates()に指定された、期間内の情報については、ID-Link側にて、あらかじめ削除します。



1/7時点での取込の場合
getDates(“2009-01-01”, “2009-01-31”, false)　※あらかじめ、“2009-01-01”, “2009-01-31”の範囲のデータを削除します。
getDates() の戻り値は、“2009-01-06”

1/9時点での取込の場合
getDates(“2009-01-01”, “2009-01-31”, false)　※あらかじめ、“2009-01-01”, “2009-01-31”の範囲のデータを削除します。
getDates() の戻り値は、“2009-01-06”

1/11時点での取込の場合
getDates(“2009-01-01”, “2009-01-31”, false)　※あらかじめ、“2009-01-01”, “2009-01-31”の範囲のデータを削除します。
getDates() の戻り値は、**空白**

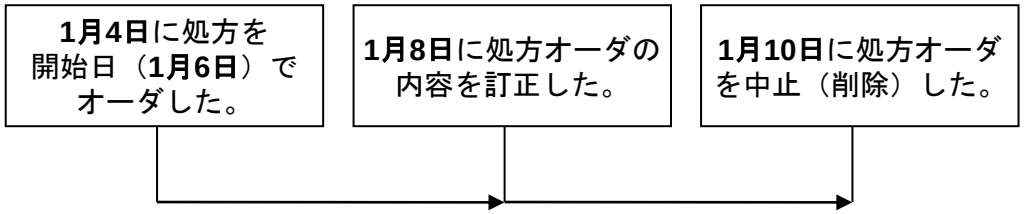
© 2011 SEC Co. Ltd.

【diff = trueの場合】

getDates()をコールした時点で、指定期間内が開始日のオーダのうち、変更（「登録」「更新」「削除」）があったオーダの日付（開始日）を返して頂きます。

（注：getDates()をコールした時点での 有効/無効 ではありません）

ただし、前回のデータ取り込みでID-Link側へ転送された"変更"は、次回以降のgetDates(true)で日付は返さないで下さい。



1/5時点での取込の場合

getDates('2011-01-03', '2011-01-11', **true**) → getDates() の戻り値は、"2009-01-06"

1/7時点での取込の場合

getDates('2011-01-03', '2011-01-11', **true**) → getDates() の戻り値は、**空白**

1/9時点での取込の場合

getDates('2011-01-03', '2011-01-11', **true**) → getDates() の戻り値は、"2009-01-06"

1/11時点での取込の場合

getDates('2011-01-03', '2011-01-11', **true**) → getDates() の戻り値は、"2009-01-06"

© 2011 SEC Co. Ltd.

具体的な例では、1/7のgetDates(true)は、既に前回（1/5）のデータ取り込みで1/4に「登録」された
処方オーダは

ID-Link側へ転送されているので、処方の開始日"2011-01-06"を返す必要はありません。

もし、1/5に転送が行われていなかった場合には、1/7のgetDates(true)で処方の開始日を返す必要があります。

同様な例で、1/9のgetDates(true)後に、同日中に再度getDates(true)を行った場合も、

処方の開始日を返す必要はありません。

（注：転送済みか否かの判断処理については御社でご検討をお願いします）

また、1/10の処方オーダ削除後の、1/11のgetDates(true)については

前述の【diff=false】とは異なり、「削除」された処方オーダの開始日を返して頂く必要があります。

© 2011 SEC Co. Ltd.

汎用I/Fservice作成時の注意点

【AXIS2を使用して接続する場合】

services.xmlの設定において、
setPatient()、setProperties()、setCallbackInfo()のmessageReceiverのクラスに
RPCMessageReceiverを指定すると、正常に動作しません。

RPCMessageReceiverではなく、 RPCInOnlyMessageReceiverを設定するようにお願いします。

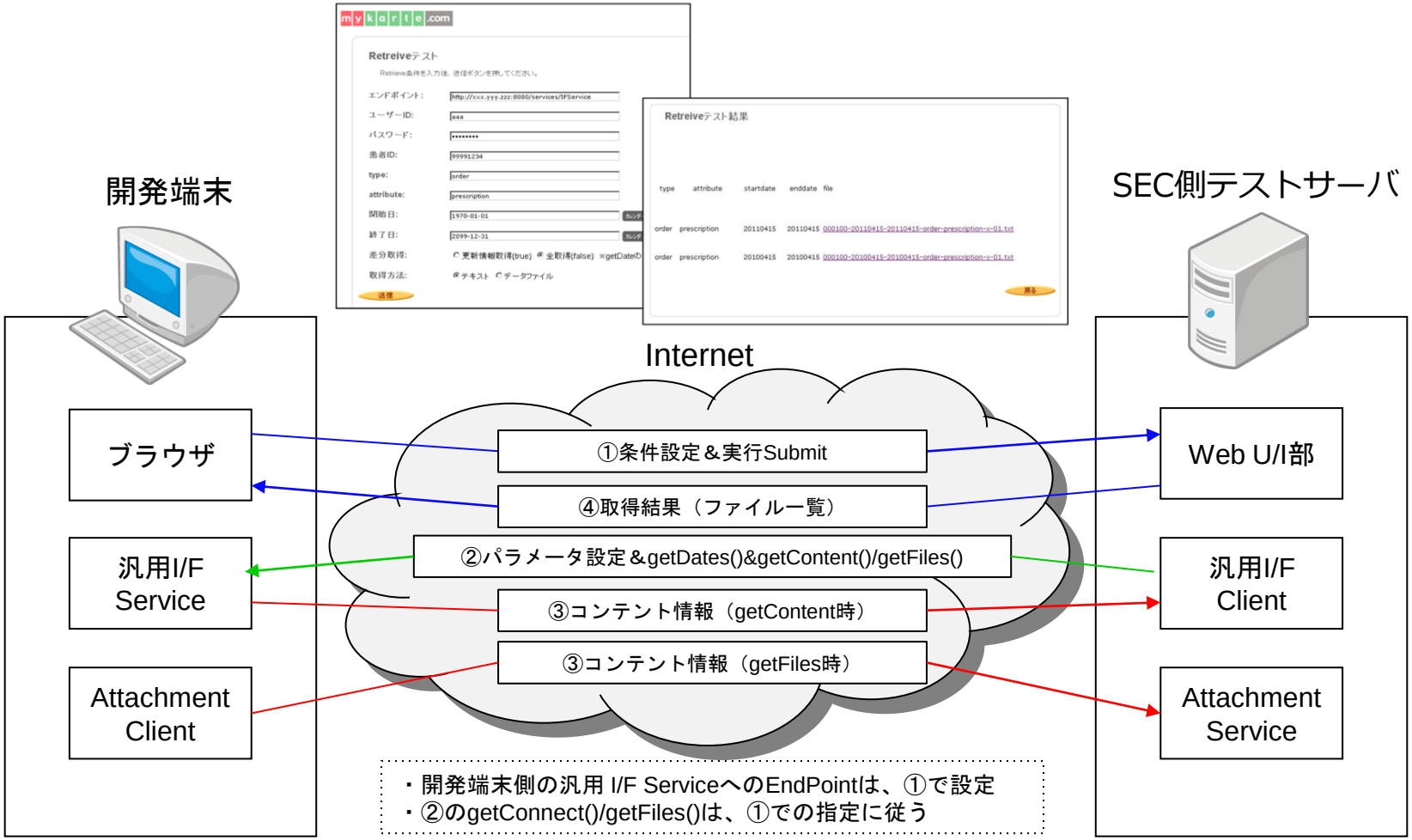
【戻り値がvoidのメソッド】
setPatient()
setProperties()
setCallbackInfo()
※詳細は、前述のAttachmentService インタフェース仕様

```
<messageReceivers>
   <messageReceiver mep="http://www.w3.org/2004/08/wsdl/in-only" class="org.apache.axis2.rpc.receivers.RPCInOnlyMessageReceiver" />
   <messageReceiver mep="http://www.w3.org/2004/08/wsdl/in-out"  class="org.apache.axis2.rpc.receivers.RPCMessageReceiver"/>
</messageReceivers>
```

© 2011 SEC Co. Ltd.

汎用 インタフェース サーバ テスト環境

・以下のサイトで開発した汎用インタフェースサーバのテストが可能です。
http://www.mykarte.mobi:8080/testweb-retrieve/
・テストに際しては、事前に、support@mykarte.com へ 件名、”汎用メッセージoverSOAP テスト環境利用 依頼“で、ご連絡ください。
弊社担当者より、テストについてのご連絡をさせて頂きます。
・当テストサイトでは、通信テストのみを行うことができます。
getContent () 時のHL7v25メッセージの検証については、別途必要です。



・開発端末側の汎用 I/F ServiceへのEndPointは、①で設定
・②のgetConnect()/getFiles()は、①での指定に従う

© 2011 SEC Co. Ltd.

テスト環境使用時の注意点

【テストサイトにAXIS2を使用して接続する場合】

弊社側のテストサイトより、ベンダー様のサービスへ接続する際に、
namespaceに "http://retrieve.service.mykarte.org" を設定させて頂いております。
その為、ご用意して頂いているAXIS2サーバへ、以下の設定を行って頂く必要があります。

/WEB-INF/services/[Webサービス名のフォルダ]/META-INF/services.xml
※ディレクトリは環境により異なる可能性があります

```
<schema schemaNamespace="http://retrieve.service.mykarte.org" />
```

上記設定を行った場合は、再起動が必要となります。
上記設定を行って頂いた後、テストサイトへの接続及びテストをお願い致します。

【テストサイトサーバのメンテナンスについて】

”汎用メッセージoverSOAP テスト環境利用 依頼“を頂いているベンダー様には、
テストサイトサーバのメンテナンスが発生する際には、日程を通知させて頂きます。
該当期間については、接続できなくなる事がありますので、ご了承願います。
※ご要望があれば、日程調整させて頂きますのでご連絡をお願いします。

© 2011 SEC Co. Ltd.

本環境でのテストの前に

本環境でのテストの前に、下記のご連絡・送付をお願いします。

下記の情報が揃い、HL7v25メッセージの検証が終わり次第、弊社側のID-Link Gatewayのモジュールを作成・リリースさせて頂きます。
リリース作業が終わり次第、ご連絡させて頂きますので、本環境でのテストスケジュールをご連絡頂くようにお願いします。

尚、モジュールについては、作成にお時間を頂きますので、本環境でのテスト・稼働のスケジュールが事前に決まっている場合は、support@mykarte.com へ
件名、”汎用メッセージoverSOAP 本環境テスト予定“、
本文へ、ベンダー殿の担当者のお名前とシステム名、対象病院名を記載のうえ、ご連絡ください。

【必要情報】

1. 開示コンテンツ情報
   ※前述のtype/attributeでも構いません。

2. HL7v25メッセージを使用する場合は、対象となるコンテンツの全てのサンプルメッセージ

3. AttachmentServiceを使用する場合は、対象となるファイルの拡張子
   ※jpeg/png等
   type=image、attribute=dicomをご利用の場合は、検査種別一覧が必要となります。

4. ID-Link Gatewayと御社側の汎用I/Fサーバとの認証に必要な、ユーザー名 及び パスワード

5. 御社側の汎用I/FサーバのIPアドレス、ポート番号及びWSDLファイル

© 2011 SEC Co. Ltd.
mykarte.com

備考

- SOAP 1.1 、1.2 のいずれのバージョンでも構いません。
- SOAPメッセージ形式は、ドキュメント/ラップとしてください。
- WebService はステートフルとしてください。
- SECよりAttachmentServiceのWSDL ファイルを提供します。
  ※bainaryファイルを利用する場合に提供させていただきます。
  ※汎用I/FサーバのWSDLファイルではございません。
- Encoding は、MS932 (Windows-31J) を指定してください。

© 2011 SEC Co. Ltd.

お問い合わせ方法について

- 連携方法に関するご質問や、その他ご不明点につきましては、
  株式会社エスイーシー ID-Linkサポートセンターまでお問い合わせください。

- **お電話でのお問い合わせ**

  0138-22-7227

  受付時間：月曜～金曜9：00～12：00、13：00～17：00 （祝日および年末年始を除く）

- **メールでのお問い合わせ**

  support@mykarte.com

  お問い合わせの際には、下記情報の記載をお願いいたします。
  - ご所属（会社、医療機関等）
  - お客様のお名前
  - Emailアドレス
  - ご連絡先（住所、電話番号）
  - 件名:**汎用メッセージoverSOAP連携について**

  また、お問い合わせに対して返信を差し上げるまでに数日を要する場合がございます。

© 2011 SEC Co. Ltd.

mykarte.com

改版履歴

版数	項目	説明	日付
第8.0版	汎用インタフェース仕様	汎用 インタフェース概要(補足： getDatesメソッドについて)を追加 汎用I/Fservice作成時の注意点を追加 テスト環境使用時の注意点を追加	2011/11/09
第8.1版	Axis2関連	汎用I/Fservice作成時の注意点を追加 テスト環境使用時の注意点を追加	2011/11/16
第8.2版	全般	本環境でのテストの前にを追加	2011/12/08
第8.3版	全般	type/attribute組み合わせに、健診結果を追加	2012/08/06
第9.0版	全般	汎用 インタフェース仕様へ.NET開発における注意事項を追記 汎用 インタフェース仕様(.Net版)（メソッド一覧）を追加 汎用 インタフェース仕様(.Net版)<標準仕様>を追加 汎用 インタフェース仕様(.Net版)<JSON文字列による拡張>を追加 type/attribute組み合わせを修正（新規対応分を追加）	2013/02/22
第9.1版	全般	type/attribute組み合わせに、PACS画像を追加 PACS画像の取り扱いについてを追加 PACS画像の取り扱いについて（設定例）を追加 検査種別についてを追加	2013/05/30
第9.2版	全般	type/attribute組み合わせに、下記を追記 ・インフォームドコンセント、見守り setPropertiesの設定についてを追記	2014/01/24
第9.3版	本環境でのテストの前に	必要情報の記述を修正	2017/04/05
第9.4版	全般 お問い合わせ方法について	文字レイアウトの微修正 電話、メールでのお問い合わせ先情報を追加	2017/08/30
第9.5版	全般	type/attribute組み合わせに、その他文書、医用波形を追加	2018/05/21
第9.6版	全般	一部文書の微修正	2022/12/15